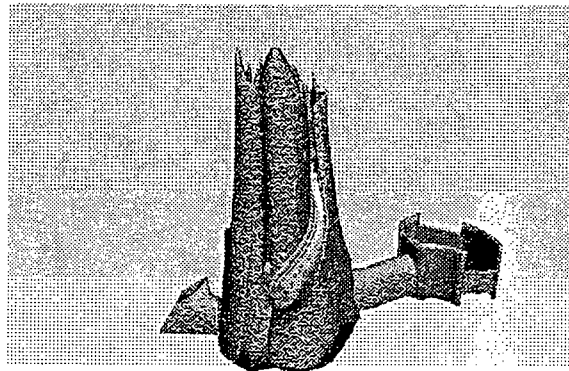


(1) 工事コストの低減  
③設計方法の見直し

## 遊具の材質を変更

公園内における遊具としてマグマの噴き出しをイメージするマグマの隆起を設計するにあたり、ソフトな材質について比較検討した結果、当初はシリコン構造のクッション性を有する遊具として計画したが、高価であるため同等の機能を保つテント地と発砲ウレタン構造の遊具に変更した。

平成12年度実績では滝野すずらん丘陵公園において適用され、その縮減率は約18%となっている。コスト縮減額は約58百万円となっている。



遊具（あり塚の塔）

